



入院診療計画書：食物経口負荷試験

<<OREVF_A>> 患者氏名：<<ORIBP_KANJU>> 様

<<DYTODAY>>

病名： 症状：蕁麻疹、吐き気、嘔吐、咳、喘鳴、ぐったりしている

月日	/	#VALUE!
経過	検査日（入院1日目）	退院（入院2日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 検査の必要性について知っている 急激な血圧や脈拍の変動がない 呼吸困難がない のどの不快感がない 頻回の下痢がない 検査後は吐き気がなく食事摂取できる 	→
治療計画 (点滴・内服)	<ul style="list-style-type: none"> 点滴や内服はありません 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 酸素モニターをつけます 	<ul style="list-style-type: none"> 予定ありません
検査	<ul style="list-style-type: none"> 病室で食物アレルギーの検査を行います 検査前に採血をします 	<ul style="list-style-type: none"> 予定ありません
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 検査前は自由に行動してかまいませんが、検査後は病室内でお過ごしください 入院により行動が制限されるためストレスが生じます。最小限のおもちゃであれば持参しても構いませんが、周りのお子さんの迷惑にならない様をお願いします 	→
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食は食べないで下さい 夕食は普段通りの授乳、または食事をして下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 普段通りの授乳、または食事をして下さい
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、体を拭きます 発汗やお漏らし等でシーツや病衣が汚れた時は交換しますので遠慮なく声をかけて下さい 	→
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 病室内のトイレをご利用ください おむつの処理について看護師が説明します 	→
教育 指導 説明	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院中の生活について説明します 入院中にご家族に常時付き添っていただきます 子供の行動は予想がつかず、ベッドからの飛び降りや転倒の危険があります。お家の方はなるべくお子さんから目を離さないようお願いします そばにおられる時でもベッド柵はできるだけ上げておくようにして下さい 目を離される時やそばを離れる時は必ずベッド柵を上げて下さい 定期的に体温や血圧、症状の観察をします 機嫌や顔色、皮膚の変化、唇・のどの不快感、吐気・嘔吐・下痢など症状が現れた時にはお知らせください 検査の結果によっては、夕食後の状態を見て退院になることもあります 	
特別な栄養管理の 必要性	<input type="checkbox"/> 有 栄養状態に合わせた栄養管理を行います <input type="checkbox"/> 無	

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わりえるものです。

注2：入院期間については、現時点で予想されるものです。

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

小児科 主治医：<<ORDCT_S_A>> ⑩ 担当医：<<ORDCT_T_A>> 看護師：<<ORDCT_N_A>> ⑩

上記について説明を受けました。 平成 年 月 日

患者氏名： _____ ⑩（印鑑がない場合は自署）

親族氏名： _____ ⑩
 （患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入）